

平成25年度	第 号	工 事 実 施 設 計 書						亀 山 市 契 約 管 財 室		
事 業 名	庁舎設備等改修事業									
施 工 場 所	亀 山 市 本 丸 町 地 内									
工 事 名	本庁舎内空調機・熱源機更新工事						設計 平成 25年 5月			
工 事 費	円 (内消費税相当額 円)						室 長		設計審査監	
工 期	平成25年12月25日限り	長		幅		設 計		検 算		
工 事 の 大 要					起 工 理 由					
老朽化した空調機・熱源機を更新する工事 ・吸収冷温水機(1F) 灯油炊 160RT 1基 ・ヒートポンプパッケージ空調機(3F) 30HP 床置ダケ外型 1基 ・冷却塔 開放式 160RT 1基 ・その他機械・電気設備 1式										

明 細 書

	内 訳	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
	本庁舎内空調機・熱源機更新工事					
A	直接工事費					
1	機械設備工事	1.00	式			
2	電気設備工事	1.00	式			
	小計					

明 細 書

	内 訳	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
A	直接工事費	1.00	式			
B	共通仮設費	1.00	式			
C	共通仮設費（積上分）工場検査費等	1.00	式			
D	現場管理費	1.00	式			
E	解体撤去処分費	1.00	式			
	小計					
F	一般管理費	1.00	式			
	合計					
	消費税相当額	1.00	式			
	合計					

明 細 書

	内 訳	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
1	機械設備工事					
(1)	空調機器設備工事	1.00	式			
(2)	空調配管設備工事	1.00	式			
(3)	ダクト設備工事	1.00	式			
(4)	給水設備工事	1.00	式			
(5)	油設備工事	1.00	式			
	1 の計					

明 細 書

	内 訳	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
(1)	空調機器設備工事					
	RB-1 吸収冷温水機 灯油炊 160RT	1.00	基			
	RB-1搬入据付費	1.00	式			
	CT-1 冷却塔 開放式 160RT 防振架台とも	1.00	基			
	RB-1搬入据付費	1.00	式			
	P-1 冷温水ポンプ 30kw 防振架台とも	1.00	台			
	P-1搬入据付費	1.00	式			
	P-2 冷却水ポンプ 15kw 防振架台とも	1.00	台			
	P-2搬入据付費	1.00	式			

明 細 書

	内 訳	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
	AC-1 ヒートポンプパッケージ空調機 30HP 床置ダ外型	1.00	基			
	湿度センサー 材工とも	1.00	組			
	AC-1搬入据付費	1.00	式			
	AC-1室外機 架台費	1.00	式			
	煙道工事 保温とも	1.00	式			
	基礎工事	1.00	式			
	既設屋上防水補修費	1.00	式			
	配線工事	1.00	式			

明 細 書

	内 訳	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
	RB-K1 吸収冷温水機 撤去	1.00	式			
	CT-K1 冷却塔 撤去	1.00	式			
	P-K1, K2 冷温水ポンプ、冷却水ポンプ 撤去	1.00	式			
	AC-K1 パッケージ空調機 撤去	1.00	式			
	既設基礎解体撤去	1.00	式			
	煙道保温材アスベスト含有調査費	1.00	式			
	(1)の計					

明 細 書

	内 訳	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
(2)	空調配管設備工事					
	冷却水 配管用炭素鋼鋼管 SGP(白) 溶接接合 屋外架空 150A	3.00	m			
	冷却水 配管用炭素鋼鋼管 SGP(白) 溶接接合 屋外架空 200A	9.00	m			
	冷温水 配管用炭素鋼鋼管 SGP(白) 溶接接合 機械室 100A	1.00	m			
	冷温水 配管用炭素鋼鋼管 SGP(白) 溶接接合 機械室 150A	36.00	m			
	冷却水 配管用炭素鋼鋼管 SGP(白) 溶接接合 機械室 150A	2.00	m			
	冷却水 配管用炭素鋼鋼管 SGP(白) 溶接接合 機械室 200A	40.00	m			
	排水 配管用炭素鋼鋼管 SGP(白) ねじ接合 機械室 20A	3.00	m			
	排水 配管用炭素鋼鋼管 SGP(白) ねじ接合 機械室 25A	2.00	m			
	排水 配管用炭素鋼鋼管 SGP(白) ねじ接合 機械室 50A	1.00	m			
	排水 配管用炭素鋼鋼管 SGP(白) ねじ接合 屋外架空 50A	4.00	m			

明 細 書

	内 訳	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
	エア抜き 配管用炭素鋼鋼管 SGP(白) ねじ接合 機械室 20A	34.00	m			
	仕切弁 5K 20A	8.00	個			
	仕切弁 5K 25A	1.00	個			
	仕切弁 5K 50A	1.00	個			
	バタフライ弁 100A	5.00	個			
	バタフライ弁 150A	4.00	個			
	バタフライ弁 200A	3.00	個			
	逆止弁 100A	2.00	個			
	防振継手(合成ゴム) 100A 二山	4.00	個			
	防振継手(合成ゴム) 150A 二山	2.00	個			

明 細 書

	内 訳	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
	Y型ストレーナ 150A	1.00	個			
	Y型ストレーナ 200A	1.00	個			
	防虫網 SUS 50A	1.00	個			
	温度計	4.00	個			
	圧力計	4.00	個			
	瞬間流量計 ヒト管式	2.00	個			
	温度計 温度検出器	1.00	個			
	天井点検口	2.00	箇所			

明 細 書

	内 訳	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
	保温工事	1.00	式			
	塗装工事	1.00	式			
	配管切断接続費	1.00	式			
	既設配管口穴埋め補修等	1.00	式			
	配管類撤去費	1.00	式			
	(2)の計					

明 細 書

	内 訳	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
(3)	ダクト設備工事					
	チャンバー 1.0t	8.00	m2			
	点検口	1.00	個			
	たわみ継手	1.00	組			
	防虫網 SUS 700×1000H 10メッシュ	1.00	組			
	消音内張り	1.00	式			
	既設消音RAチャンバー一時取外し再取付	1.00	式			
	既設ダクト切断接続費	1.00	式			
	ダクト類撤去費	1.00	式			
	(3)の計					

明 細 書

	内 訳	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
(4)	給水設備工事					
	給水 ビニルライニング鋼管 SGP-VA ねじ接合 屋外架空 20A	4.00	m			
	給水 ビニルライニング鋼管 SGP-VA ねじ接合 屋外架空 32A	4.00	m			
	給水 ビニルライニング鋼管 SGP-VA ねじ接合 機械室 20A	1.00	m			
	仕切弁 5K 20A 管端コブ	3.00	個			
	防振継手(合成ゴム) 20A 筒型	3.00	個			
	保温工事	1.00	式			
	配管類撤去費	1.00	式			
	(4)の計					

明 細 書

	内 訳	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
(5)	油設備工事					
	油 配管用炭素鋼鋼管 SGP(黒) 溶接接合 機械室 20A	17.00	m			
	マリアブル弁	4.00	個			
	フレキシブルジョイント	4.00	個			
	はつり補修費	1.00	式			
	配管防食、塗装工事	1.00	式			
	配管切断、接続費	1.00	式			
	既設油タンク改修費 消防申請費とも タッピング取付 20A	1.00	式			
	配管類撤去費	1.00	式			
	(4)の計					

明 細 書

	内 訳	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
2	電気設備工事					
(1)	電気設備工事	1.00	式			
	1の小計					

明 細 書

	内 訳	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
(1)	電気設備工事					
	電線管 CP(19)露出	11.00	m			
	電線管 CP(25)露出	3.00	m			
	電線管 CP(31)露出	20.00	m			
	電線管 CP(39)露出	12.00	m			
	電線管 CP(51)露出	20.00	m			
	電線管 CP(75)露出	20.00	m			
	電線管 GP(28)露出	7.00	m			
	電線管 GP(28)露出	7.00	m			
	金属製可とう電線管 (ビニル被覆) 30mm	1.00	ヶ所			
	金属製可とう電線管 (ビニル被覆) 50mm	1.00	ヶ所			
	金属製可とう電線管 (ビニル被覆) 76mm	1.00	ヶ所			

明 細 書

内 訳	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
金属製可とう電線管 (ビニル被覆) 30mm、防水	1.00	ヶ所			
金属製可とう電線管 (ビニル被覆) 50mm、防水	1.00	ヶ所			
プルボックス (溶融亜鉛メッキ) 100x100x100	1.00	個			
プルボックス (溶融亜鉛メッキ) 200x200x200	2.00	個			
プルボックス (溶融亜鉛メッキ) 300x300x200	2.00	個			
プルボックス (SUS, WP) 200x200x200	1.00	個			
露出ボックス 丸型(19) 2方出	1.00	個			
露出ボックス 角形(25) 1ヶ用	1.00	個			
電線・ケーブル IV2.0 (管内)	10.00	m			
電線・ケーブル IV14° (管内)	45.00	m			

明 細 書

内 訳	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
電線・ケーブル IV22° (管内)	147.00	m			
電線・ケーブル IV60° (管内)	117.00	m			
電線・ケーブル CVT22° (管内)	12.00	m			
電線・ケーブル CV5.5° -4C (管内)	17.00	m			
電線・ケーブル CVV2° -2C (管内)	11.00	m			
電線・ケーブル CVV2° -6C (管内)	12.00	m			
電線・ケーブル CVT22° (ころがし)	7.00	m			
有圧扇制御盤 L-F	1.00	面			
手元開閉器盤 S-1	1.00	面			
手元開閉器盤 S-2 (防水)	1.00	面			

明 細 書

内 訳	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
塗装費 露出配管部分	1.00	式			
一時取外し、再取付工事	1.00	式			
撤去工事	1.00	式			
小計					

明 細 書

	内 訳	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
	D 解体撤去処分費					
	1 機械設備工事	1.00	式			
	2 電気設備工事	1.00	式			
	Dの計					

明 細 書

	内 訳	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
1	機械設備工事					
(1)	空調機器設備工事	1.00	式			
(2)	空調配管設備工事	1.00	式			
(3)	ダクト設備工事	1.00	式			
(4)	給水設備工事	1.00	式			
(5)	油設備工事	1.00	式			
	1の計					

明 細 書

	内 訳	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
(1)	空調機器設備工事					
	RB-K1 吸収冷温水機 処分	1.00	式			
	CT-K1 冷却塔 処分	1.00	式			
	P-K1, K2 冷温水ポンプ、冷却水ポンプ 処分	1.00	式			
	AC-K1 パッケージ空調機 処分	1.00	式			
	既設基礎 処分	1.00	式			
	(1)の小計					

明 細 書

	内 訳	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
(2)	空調配管設備工事					
	配管類処分	1.00	式			
	(2)の小計					

明 細 書

	内 訳	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
(3)	ダクト設備工事					
	ダクト類処分	1.00	式			
	(3)の小計					

明 細 書

	内 訳	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
(4)	給水設備工事					
	配管類処分	1.00	式			
	(4)の小計					

明 細 書

	内 訳	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
(5)	油設備工事					
	配管類処分	1.00	式			
	(5)の小計					

明 細 書

	内 訳	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
2	電気設備工事					
	配線、配管類処分費	1.00	式			
	2の小計					

特記仕様書

本工事は、老朽化した市庁舎内の空調機・熱源機を更新する工事である。

【工事場所】

三重県亀山市 本丸町 地内

【工事概要】

老朽化した空調機・熱源機を更新する工事

・吸収冷温水機（1F）	灯油炊	160RT	1基
・ヒートポンプユニット空調機（3F）	30HP	床置ダクト型	1基
・冷却塔	開放式	160RT	1基
・その他機械	電気設備		1式

【注意事項】

1. 本工事に起因する近隣・利用者及び施設関係者などの安全対策について十分配慮し、事前協議を行い、対策を講ずること。工事期間中の施設関係者の出入り・一般利用者の利用方法などは、施工者・工程決定後に別途協議するものとする。
2. 工程については、施設運営上なるべく支障なきようにするため、十分な打合せを行うこと。
3. 本工事において施工上、設備上必要欠くべからざる事項は、設計書及び仕様書に記載なき場合でも本工事に含むこととする。
4. 廃材処理については、建設物副産物適正処理推進要綱等に基づき適正に処理すること。
5. その他については、亀山市工事執行規則、亀山市会計規則及び亀山市契約規則に従うこと。
6. 設計書の数量については、参考とする。
7. 現地確認のうえ、見積りを行うこと。
8. 工事に先立ち、工事建物を十分に把握し、現況を調査すること。またその結果内容を監督員に報告をすること。
9. 本工事に係る諸官庁の手続きについては本工事に含むものとする。

1章 共通事項

この特記事項以外は下記に準拠する。ただし改修部分で監督員が適用することが不適切であると判断した場合は監督員の指示による。

国土交通大臣官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（平成22年版）

（建築工事編、電気設備工事編、機械設備工事編）

国土交通大臣官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（平成22年版）

（建築工事編、電気設備工事編、機械設備工事編）

国土交通大臣官庁営繕部監修 公共建築設備工事標準図（平成22年版）

（電気設備工事編、機械設備工事編）

国土交通大臣官庁営繕部監修 建築物解体工事共通仕様書・同解説（平成18年版）

国土交通大臣官庁営繕部設備・環境課営繕環境対策室監修

建築工事における建設副産物管理マニュアル・同解説
三重県公共工事共通仕様書（平成24年7月版）

1.1 設計図書の疑義（質問）

設計図書に関する疑義は原則として、入札執行前に質疑書の提出によって確かめるものとするが、ない場合は質疑書の提出は不要とする。

1.2 官公署その他への手続き

工事の施工に必要な官公署その他への手続きは、費用とともに請負者の責任において行うものとする。

1.3 発生材の処理

引渡しを要するものは、監督員の指定する場所に整理し、リストを作成し管理者へ引き渡す。

引渡しを要しないものは、全て場外に搬出し、関係法令等に従い、適切に処理する。

事前に建設廃棄物処分計画書を監督員に提出し承諾を得ること。

1.4 記録

・工事写真

工事着工に先立ち、敷地及び周辺の道路、建築物、工作物等の現況を撮影する。黒板に所定事項を明記し工事の進捗状況を撮影記録すると共に特に施工後、隠蔽または埋設される部分は被写体にカメラを添え撮影すること。

撮影は、建設大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方」に準じて行うものとする。

提出部数 工事写真（着工～完成）1部
完成写真 2部

デジタル工事写真 可（電子媒体でも1部提出）

1.5 環境対策（ISO14001対応）

物品及び労務の供給又は請負業務並びに委託業務の実践にあたっては、下記の事項に遵守いただきますようお願いいたします。

記

各種の作業を実施されるにあたっては、電気、水の節水、アイドリングストップなど省エネ、省資源に努めていただくこと。

各種に作業を実施されるにあたっては、環境に配慮し、建設廃棄物の発生量の抑制並びに再利用、減量化に努めていただくこと。

物品については、環境にやさしい商品を選定していただくこと。

（三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品、エコマーク製品等）
環境配慮建設資材（再生加熱アスファルト混合物、再生クラッシュラン）
緊急時（機械等からの油の流出等）処置方法を施工計画に入れること。

1.6 シックハウス対策

仕上げ材料等については発散速度 $5\mu\text{g}/\text{m}^3\text{h}$ 以下(F)を使用すること。

適合材がなくどうしても第三種(F)及び第二種(F)ホルムアルデヒド発散建築材料を使用する場合は監督員と協議すること。

1.7 石綿障害予防

石綿障害予防規則における成形板等の飛散しにくい建材の解体に係る関係事項

で、建築物又は工作物の解体、破碎等の作業を行うときは、あらかじめ、当該建築物又は工作物について、石綿等の使用の有無を目視、設計図書等により調査し、その結果を記録しておかなければならない。ただし、調査を行ったにもかかわらず、石綿等の使用の有無が明らかになかったときは、石綿等の使用の有無を分析により調査し、その結果を記録しておかなければならない、分析による費用及び調査する工期については監督員と協議するものとする。また、石綿等を解体等の作業における保護具の装着、湿潤を保つ措置を行う費用、特別の教育を請負者が実施する場合の費用についても協議することとする。石綿等が使用されている建築物又は工作物の解体等の作業を行うときは、あらかじめ、作業計画を定め、かつ、当該作業計画により作業を行わなければならない。

1. 8 提出書類

工事施工に関し必要なものを別途指示する。

完成図書、工事管理記録等は出来る限り電子データ化し別途提出すること。

工事中の連絡調整・検査立会い記録は書面で残すこと。

完成図書等

工事完了前に次の図書を作成し提出する。

完成図（竣工原図） 完成図の2つ折り製本1部、施工図の2つ折り製本1部
電子納品できるものは別に提出すること。

1. 9 その他

・ 工事実績情報の登録等

工事請負金額が500万円以上の工事は、CORINSに基づき工事カルテ受領証の写しを監督員に提出すること。（契約後10日以内に登録提出）

・ 本工事には、産業廃棄物税相当分が計上されていないため、請負者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払い請求を行うこと。なお、この時期を超えて請求することはできない。また、設計数量を超えて請求することはできない。

・ 再生資源利用計画書及び再生資源利用実施書の作成、提出。

・ 提出書類

工事施工に関し必要なものを別途指示する。

・ その他

安全管理（工程管理、パトロール記録、安全教育）資料を整備し、提出すること。

品質管理、工程管理、出来形管理等の自社管理基準を定め、完成時に管理状況がわかる資料を提出すること。

明示項目	明示事項	条件及び内容
残土・産業廃棄物 関係	残土処分（自由処分） 残土処分（指定処分・他工事流用 産業廃棄物の処理条件あり	残土処分地（別添図等 別添協議 その他 （ ））暫定運搬距離 km 処分地の処理条件あり（ 押土整地 その他 （ ）） 産業廃棄物の種類（ コン塊 アス塊 木材 汚泥 その他（ 設計書に記載 ）） 産業廃棄物の処分地（ 再生処分場（ ） 最終処分場（ ） 別添図書 その他（ ） 別添協議） 運搬距離 km 処分地での処理費（ 計上あり（ 処理費 押土整 地 被覆土） その他（ ） 別添協議 処分場の受け入れ条件（ ） その他（ ）

2章 仮設工事

- 2.1 材料置き場その他仮設物の設置場所
構内、但し施設利用者の利用導線を確保するため監督員や関係者と協議を行うものとする。
- 2.2 監督員事務所 不要
仮設便所 監督員と協議のうえ決定する。
- 2.3 足場 関係法令に従い設置する。

足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について、「厚生労働省 基発第 0424001 号 平成 21 年 4 月 24 日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体及び変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方法又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

2.4 危険物貯蔵所

塗料などの現場での貯蔵及び保管については、監督員と協議のうえ、関係法令に従い適切におこなうこと。

亀山市建築工事提出書類

【契約時提出】

- ★現場代理人選任通知(経歴書・免許書・卒業証明書の写し)
- ★主任技術者等選任通知(4500万円以上は主任技術者→監理技術者、5000万円以上は専任監理技術者)
- ★工事着工届
- ★契約用工程表
- ・建設業退職金共済の証紙の購入領収書・火災保険証券・労災保険成立証明書の写し

【契約後 10～14 日以内提出】

- ・コンプズ登録(①500万円以上 簡易、②2500万円以上必要)
- ・再生資源利用計画書(データ入力共)
- ★施工計画書 (①100万円未満不要、②100万円以上 簡易、③500万円以上必要)
- ・実施工程表 (監督員と協議後、作成提出)
- ★部分下請負通知書(下請負先の請書・契約約款の写しを添付)
- ・作業主任者資格証写し(足場・溶接など)
- ★施工体制台帳(4500万円以上)(下請契約台帳、再下請契約届出書、施工体系図)
- ★使用材料調書(主要材料、仕様書もしくはカタログを添付)、コンクリート配合書

【随時提出】

- ★段階確認書(立会い前に提出。立会い後に写真を提出)
- ★工事打合せ簿、議事録、協議書など
- ★工事履行状況報告書(毎月25日提出、完成月は完成日提出)
- ・休日作業届(土日祝日)
- ・工事休止届

【完成時提出】

- ・日報
- ・安全管理書類(安全協議会:1回/月以上、安全パトロール:1回/月以上、安全教育:4時間/月以上)
- ・マニュアル写し(原本D票またはE票確認後、A、B2、D票の写しを提出)
- ・廃棄物契約書(廃棄物処理業・運搬業許可書、廃棄物運搬経路を添付)
- ・再生資源利用実施書(データ入力共)
- ・工事写真帳(着工前～各工程～完成)
- ・出荷証明書、出荷伝票、納品書
- ・出来形測定表・数量計算書
- ・施工図、製作図、竣工図(製本)
- ・社内検査報告書
- ・コンプズ登録(竣工、2500万円以上は必要)
- ・諸官庁手続き控(リサイクル法、労基法、水道電力申込、道路等許可申請など)
- ・各リスト表(納入、鍵、予備品、未納入など)
- ・保証書、取扱説明書
- ・完成写真(着工前、完成) 2部
- ・工事完成報告書 2部
- ・その他提出を指示する書類

【検査後提出】

- ・検査写真 2部
- ・目的物引渡書
- ・請求書

※★は県書式を準拠のこと

※監督員と協議を行い、上記項目の該当部分のみの提出とする。